

## 令和元年「市民と議会のわがまちトーク」報告書

開催日時	令和元年8月3日(土) 午前10時から11時45分まで
開催場所	商工観光センター 4階 展示交流室
テーマ	障がい者支援について
参加市民	27人
出席議員	担当委員会：福祉健康委員会 鯛慶一、杉島久敏、石束悦子、尾関善之、田畑篤子、田村優樹  サポート委員会：産業建設委員会 今西克己、山本治兵衛、川口孝文、小西洋一、仲井玲子、松田弘幸

### 内 容

#### 【概要】

議長の開会挨拶に続いて、6月定例会について報告した後、グループに分かれてテーマについて意見交換を行い、最後に各グループから意見交換の内容を発表した。

#### 【各グループの意見交換の内容】

##### A班

担当議員：(委員長) 鯛慶一

参加者数：7人(議員、補助参加者を含む)

#### 【検討した課題と意見の主なもの】

- ・市役所に手話通訳者の配置が少ない。
- ・磁気ループの設置場所が少ない。
- ・磁気ループの設置場所が知られていない。
- ・要約筆記者を知らない難聴者が多い。
- ・人工内耳の補助制度の現状を知ってほしい。



#### 【解決策の案の内容】

- ・職員募集条件の緩和(年齢など)をする。
- ・公共施設で人が集まるところは、磁気ループを設置する。
- ・市主催の行事には、必ず要約筆記者や手話通訳者をつける。
- ・要約筆記を知ってもらうために、ゆるキャラを作成し、市民に知っていただく。
- ・市や府の補助の現状を知って、政策提言をしてほしい。



## B班

担当議員：(副委員長) 杉島久敏

参加者数：7人(議員、補助参加者を含む。)

### 【検討した課題と意見の主なもの】

- ・小児科の往診がないこと
- ・人工内耳の補助制度の現状を知ってほしい。
- ・施設窓口での障がい者に対する対応状況の改善
- ・高齢難聴者への理解不足の解消 など

### 【解決策の案の内容】

○行政が進められる対応

- ・市独自の制度
- ・支援会議の開催
- ・障がい者の立場で物事を見られるようにすること
- ・補聴器、人工内耳の補助に対しては、予算の確保を考慮すること
- ・要約筆記者や手話通訳者の必要性を十分に理解することが第一であるとする。
- ・障がい者に優しいまちづくりが求められる。



## C班

担当議員：(委員) 尾関善之

参加者数：7人(議員を含む。)

### 【検討した課題と意見の主なもの】

○ハード整備

- ・急な用事ができたときの預かり(宿泊など)の充実
- ・障がい者用の通路確保の充実

○制度

- ・制度の狭間にいる人たちをどう支援するのか。
- ・家族の負担が大きい。 など

### 【解決策の案の内容】

- ・就労場所の確保や整備
- ・移動支援の利用条件の見直し
- ・就労利用者の賃金の確保など
- ・市民と障がい者、家族との意見交換の機会を増やす。
- ・子供の頃から障がいを持っておられる方と一緒に過ごす時間を増やす。



## D班

担当議員：(委員) 田畑篤子

参加者数：7人(議員、補助参加者を含む。)

### 【検討した課題と意見の主なもの】

- ・地域で暮らせるために、家族の意識改革をすること
- ・集える場所の整備
- ・通訳者の人員不足
- ・重度障がい者への訪問介護 など



### 【解決策の案の内容】

- ・地域の中で暮らすために、障がいを隠さないなど家族の意識改革
- ・地域で集える集会所の整備や通訳者の活用
- ・支援する障がいへの専門性の高いスタッフの育成
- ・車椅子で通える道路の整備 など



## E班

担当議員：(委員) 石束悦子

参加者数：6人(議員、補助参加者を含む。)

### 【検討した課題と意見の主なもの】

- ・バリアフリーになっていない箇所が多い。
- ・不審者と間違えられる。
- ・障がい者優先駐車場に健常者が駐車をしている。
- ・そもそも障がい者支援とは何か。
- ・災害時の周知や対策など、発信方法や市職員の説明も弱い。など



### 【解決策の案の内容】

- ・周知の徹底
- ・市民と行政と障がい者が一体となって「してほしい」から「一緒につくり上げる」という意識改革を進める。
- ・小学校から障がい者教育を進める。
- ・聴覚障がい者のために、災害時に役立つ電光掲示板を作成、設置
- ・昨年、手話を言語として普及する条例が議決され前進したが、より充実させてほしい。(119スマホを取り入れたり、通訳者の手当や人数を増やす。など)





## F班

担当議員：(委員) 田村優樹

参加者数：7人(議員を含む。)



### 【検討した課題と意見の主なもの】

- ・障がいに応じた施設の整備が遅れている。
- ・支援学校等卒業後の不安
- ・職員の高齢化
- ・視覚障がい者への支援者が少ない。
- ・公共機関や病院に手話通訳者が少ない、またはいない。など

### 【解決策の案の内容】

- ・子供たちへの福祉学習、学校との連携強化
- ・条例に関するパンフレットの作成
- ・介護職員の待遇改善
- ・介護タクシーの利用条件の見直し
- ・支援員の育成や情報共有の強化
- ・支援学校と市や福祉施設、医療の連携を図り、障がい者の自立支援を進めてはどうか。など



### 【意見交換の結果の取り扱い方針】

各班の意見交換会の結果について、委員会で調査・議論を行い、市政への反映に向けて検討していく。